聖路加国際大学 バイオバンク

氏名　大竹　淳矢

所属　研究管理部　バイオバンク室

役職　研究員

URL

http://research.luke.ac.jp/partnerships/index.html

◆研究シーズの概要◆

近年、医療技術の進歩は目覚ましいものがあり、がん免疫治療やゲノム医療、再生医療の臨床への導入等、医療の形は大きく変わりつつある。しかしその一方で、これらの治療法に適応できない患者も数多く存在する。それらの病気の原因を明らかにすることや治療法の比較をするためには、実際のヒトの検体（血液や組織等）、診療情報を利用しての研究が不可欠である。

そこで、現在活用が期待されるのが「バイオバンク」である。バイオバンクは、診療上必要な検査のために採られた血液・組織の残余分や手術などで摘出された組織等を、将来の研究のために集積しておくことをいう。バイオバンクの試料・情報は、今後の医学の進歩のために行われる研究にとって貴重な財産となりうる。

聖路加国際大学では、聖路加国際病院および附属クリニック予防医療センターの受診者の血液、組織、尿、便など診療に関わる試料とそれに付随する診療情報・予後情報のバンキングを構築中である。2023年10月現在、依頼者の要望に応じて診療科マッチングを行うオンデマンド型の検体収集がスタートしている。

検体保管用フリーザー（一部）

自動分注システム

◆共同研究・受託研究のご提案◆

- ■　希望疾患に関わる検体収集の可否調査からの相談ができます
- ■　継続的な検体収集・保管が可能です
- ■　経時的（2018-2023）に採取された健常人血清を使用した共同研究が可能です
- ■　今年度より分譲可能な健常人血清の収集が開始されます

◆アピールポイント◆

- ■　併設する聖路加国際病院と協力し、フレッシュな検体の取得と検体処理が可能
- ■　検体管理システム・温度監視システムを利用し、詳細な時間ログがある検体処理・保管記録が可能
- ■　同一人物を複数年にわたって追跡可能な健常人血清を数千人分保有 (臨床情報有)